

# 事務局

専務理事 増田 顕久  
事務局 長 矢原 俊宏  
副事務局 長 大村 猛

## 《基本方針》

MAK・JC は創立 50 周年の節目を迎えますが、近年の運動を振り返れば、各種会議への出席率の低下や資料提出の遅延、各委員会の展開する事業への参加意識の低下など改めていかなければならない点が多々あるのが現状です。事務局は会の下支えを行なう立場から、堅確な組織運営を実現し、各種会議を円滑に進めてゆくサポートを行い、メンバー一人ひとりに JC 運動への意欲を高めていただく取り組みを推進していく必要があります。

まずは、シニアメンバーと現役メンバーの親睦を深めるために、現役・シニアクラブ合同新年会を行い、本年度の運動に対する理解を深めていただき、他団体に対しても MAK・JC の運営方針を発信する機会を得ます。そして、MAK・JC の運動をより効果的に遂行するために、正確な議事録の作成と厳粛な会議の設営を一年間通して行うことで、各事業への参加意欲向上と事業のパフォーマンス向上につなげます。さらに、各委員会の事業・例会アワーなど MAK・JC の運動を知って頂くために、ホームページ・SNS にて順次発信することで、地域の枠を超えた幅広い広報活動を行い、情報発信の効果を高めます。また、全ての活動の源となる財務基盤の確立のために、各委員会が行う公益事業の予算を公益法人会計基準に則った適正な財務管理を行い、各種補助金や会員拡大の下支えをしていきます。

50 周年の節目を機に MAK・JC が地域からの信頼、傑出した先輩方との繋がりを大切にしていき、必要な情報を議事録や広報活動にて残していくとともに、各種会議の効率化やメンバーの会議への出席率向上を目指し、基本に立ち返って丁寧な運営で、思いやりのある「新しい MAK・JC」を実現します。

## 《運営方針》

1. MAK・JC の本年度の運動を発信するために新年会を開催します。(1 月)
2. 総会・理事会の議事録を作成します。(通年)
3. 総会・理事会の設営を行います。(通年)
4. ホームページ・SNS を活用した広報活動を行います。(通年)
5. 公益法人会計基準に則った適正な財務管理を行います。(通年)

## 《事業計画》

1. 現役 シニアクラブ合同新年会の開催

## 《事業予算》

1. 現役・シニアクラブ合同新年会 30,000 円

---

合 計

30,000 円

